

三菱地所株式会社「CSR報告書2005」 - 審査の対象となった重要な定量情報

ページ	審査対象範囲	審査対象項目
5	「三菱地所グループ概要」の表	連結対象会社の数および内訳、連結営業収益、連結経常収益、従業員数
5	「三菱地所概況」の表	資本金、営業収益、従業員数
6	「財務データ(連結)」の表	営業収益、当期純利益、売上高当期純利益率、株主資本当期純利益率、総資産、株主資本、資本金、一株あたり当期純利益、一株あたり配当金
6	「セグメント別営業収益」のグラフ	セグメント別営業収益の比率
6	本文「新中期経営計画“FF2007～Foundation for the Future～”」内の新中期経営計画の内容	前中期経営計画ではEBITDA 1,700億円が目標となっていたこと、2004年度決算ではEBITDA 1,783億円を達成したこと、新中期経営計画では2007年度にEBITDA 2,000億円達成が目標となっていること、新中期経営計画では2007年度にEBITDA倍率 5.0倍以内が目標となっていること
11	「2004年度の個人情報漏洩事例について」の記事	発生件数と時期
14	リスクマネジメントの「2004年度の実施状況」の記事	以下の開催回数 ・取締役会 ・監査役会 ・「経営戦略委員会」 ・「経営会議」 ・「アドバイザリーボード」
16	「株式の状況」の表およびグラフ	会社が発行する株式の総数、発行済株式総数、株主数、所有者別の比率
26	「新卒採用者数(総合職)」のグラフ	2004年度、2005年度の採用者数および2006年度の男女別採用予定者数
26	「正社員の構成」のグラフ	性別・階層別の人数、性別・年代別の人数
26	「離職率」のグラフ	離職率
28	「キャリア採用者(総合職)」の表	キャリア採用者数
28	「障害者雇用率の推移」のグラフ	障害者雇用率
28	「健康診断受診率(本店)」のグラフ	健康診断受診率
29	「一人当たり1ヶ月の時間外労働時間(総合職・事務職)」のグラフ	一人当たり1ヶ月の時間外労働時間
29	「育児休業・介護休業の利用者数」の表	育児休業・育児短時間勤務・介護休業の利用者数
29	「組合員(非基幹職)比率」のグラフ	基幹職・組合員の人数、および組合員の比率
32	「ISO14001の認証取得状況」の表	認証取得年月日、更新年月日
33-34	三菱地所㈱の取り組み	環境目的、2004年度環境目標、2004年度実績、評価、2005年度環境目標
33-34	グループ会社の取り組み	環境目的、2004年度環境目標、2004年度実績、評価、2005年度環境目標
35	「エネルギー使用量・原単位推移」のグラフ	エネルギー使用量、原単位使用量
35	「エネルギー消費実績」・「エネルギー消費目標」の表	エネルギー消費実績、対象ビル数、エネルギー消費目標
36	「CO ₂ 換算値・原単位推移」のグラフ	CO ₂ 排出量、原単位
36	本文「2004年度の温室効果ガス排出量」内の「[各年度の排出量実績]」の記事	各年度の排出量実績、対象ビル数
36	コラム「グリーン電力証書」	「2004年度の発電実績は91.2万kWh」であったこと
37	本文「ノンフロン断熱材をマンションの標準仕様に」	「2005年8月以降計画する首都圏のマンションの標準仕様として採用」されたこと、「代替フロンと比較して地球温暖化作用が約1/900」であること、「CO ₂ に換算すると約2.6トン分の削減効果」であること
38	「年間冷暖房コスト・CO ₂ 排出量(換算値)比較図」のグラフ	CO ₂ 排出量、年間冷暖房コスト
38	「エアロテック」ご利用者アンケート	実施時期、有効回答数、アンケート結果
39	「2004年度廃棄物内訳」のグラフ	廃棄物内訳の比率
39	「廃棄物種別排出量推移」の表	廃棄物種別排出量
40	本文「食品残渣物の飼料化」	「リサイクルされる食品残渣物量は月間約16トン」であること、「従来焼却処分されていた一般廃棄物の約30%に相当」すること
41	「水道使用量・原単位推移」のグラフ	水道使用量・原単位使用量
41	「水道消費実績・水道消費目標」の表	水道消費実績、対象ビル数、水道消費目標
41	「中水利用システム」の図	システム図の各数値
41	本文「ホテルでの中水利用システムの強化」	「2004年度の中水量は、2003年度比約29%増量となる39,509m ³ 」であったこと、「ホテル全体の水使用量を2003年度比9.8%削減する」ことができたこと
42	本文「管理ビルの災害時の安全性向上」	「2004年度末時点でのフィルム貼付対象面積は6.5万m ² で、施工済み面積はその88%に相当する5.7万m ² 」であったこと、「2005年度は、その7%、4.6千m ² 以上の施工を目指して」いること
43	コラム「M.M.TOWERS FORESISがCASBEEのSランク認証を取得」	「M.M.TOWERS FORESISがCASBEEのSランク認証を取得」したこと
45	記事「設計監理業務における環境保全効果について」	「2004年度新築着工物件の事例では、国土交通省・経済産業省の告示に示された省エネルギー基準値からそれぞれ平均20.2%、30.4%の省エネルギー効果」となっていること
46	「三菱地所グループ2004年度環境会計」の表	投資額、費用額、環境保全効果
46	「環境保全コスト内訳(費用額)」のグラフ	環境保全コスト内訳の比率
47	「環境負荷総量及び単位床面積あたりの環境負荷」のグラフ	全対象ビルの環境負荷、2002～2004年度を通じて稼働のビル(26棟)の環境負荷、単位床面積あたりの環境負荷
47	「2004年度の単位床面積あたり環境負荷」のグラフ	各ビル群の2004年度単位床面積あたりの環境負荷
48	「社員のボランティア活動支援」の表	利用実績(延べ人数)

以上